



◆倍数

□にあてはまる言葉や数を書きましょう。

① 3 を 1 倍、2 倍、……、9 倍した数を書きましょう。

3、**3、6、9、12、15、18、21、24、27**

② ある整数を整数倍してできる数を、もとの整数の **倍数** といいます。
0 は倍数に入れないことにします。



①で書いた数は、3 のだんの
九九の答えと同じだね。

10 倍、11 倍、…と調べていくと、
ばいすう 倍数はいくつも見つけれられるよ。



③ 4 の倍数を、小さいほうから じゆん 順に 9 つ書きましょう。

4、8、12、16、20、24、28、32、36

④ 下の数直線で、3 の倍数と 4 の倍数に○をつけましょう。

3 の倍数 0 1 2 **③** 4 5 **⑥** 7 8 **⑨** 10 11 **⑫** 13 14 **⑮** 16 17 **⑱** 19 20 **⑲** 22 23 **⑳** 25

4 の倍数 0 1 2 3 **④** 5 6 7 **⑧** 9 10 11 **⑫** 13 14 15 **⑰** 17 18 19 **⑳** 21 22 23 **㉒** 25

⑤ 25 までの数で、3 の倍数にも 4 の倍数にもなっている数を書きましょう。

12、24

⑥ いくつかの整数に共通な きやうつう 倍数を、それらの整数の **公倍数** といいます。

⑦ 公倍数のうち、いちばん小さい公倍数を **最小公倍数** といいます。

⑧ 25 までの数で、2 と 8 の公倍数は、**8、16、24** で、

さいしやうこうばいすう 最小公倍数は **8** です。

さいしやうこうばいすう 公倍数は、最小公倍数を
2 倍、3 倍、…した数だね。





◆約数

□ にあてはまる言葉や数を書きましょう。

- ① $12 \div \square$ で、わりきれて商が整数になるとき、□ にあてはまる整数をすべて書きましょう。

1、 1、2、3、4、6、12

□に入る数は、
1 から 12 まで
の間の数だよ。



- ② ある整数をわりきることのできる整数を、もとの整数の **約数** といいます。



①で書いた数は、
12 の約数だね。

- ③ 8 の約数をすべて書きましょう。

1、2、4、8

- ④ 下の数直線で、8 の約数と 12 の約数に○をつけましょう。

8 の約数 0 ① ② 3 ④ 5 6 7 ⑧

12 の約数 0 ① ② ③ ④ 5 ⑥ 7 8 9 10 11 ⑫

- ⑤ 8 の約数にも 12 の約数にもなっている数を書きましょう。

1、2、4

- ⑥ いくつかの整数に共通な約数を、それらの整数の **公約数** といいます。

- ⑦ 公約数のうち、いちばん大きい公約数を **最大公約数** といいます。

- ⑧ 4 と 16 の公約数は、 1、2、4 で、

最大公約数は 4 です。

公約数は、最大公約数の
約数になっているよ。





◆大きさの等しい分数

大きさの等しい分数について調べましょう。

分数の分母と分子に同じ数をかけても、
分数の大きさは変わりません。

$$\frac{\bigcirc}{\triangle} = \frac{\bigcirc \times \square}{\triangle \times \square}$$

① $\frac{2}{3}$ と大きさの等しい分数を 3 つ書きましょう。

れい
(例)

$$\frac{4}{6}, \frac{6}{9}, \frac{8}{12}$$

$$\frac{2}{3} = \frac{2 \times \square}{3 \times \square}$$



□にどんな数を
あてはめようかな。

分数の分母と分子を同じ数でわっても、
分数の大きさは変わりません。

$$\frac{\bigcirc}{\triangle} = \frac{\bigcirc \div \square}{\triangle \div \square}$$

② $\frac{12}{36}$ と大きさの等しい分数を 3 つ書きましょう。

れい
(例)

$$\frac{6}{18}, \frac{4}{12}, \frac{3}{9}$$

$$\frac{12}{36} = \frac{12 \div \square}{36 \div \square}$$



□にどんな数を
あてはめようかな。

③ $\frac{2}{4}$ と大きさの等しい分数を 3 つ書きましょう。

れい
(例)

$$\frac{1}{2}, \frac{3}{6}, \frac{4}{8}$$

◆約分と通分

分数の分母と分子をそれらの^{こうやくすう}公約数でわって、分母の小さい分数にすることを、

約分

するといいます。



次の数を^{やくぶん}約分しましょう。

①

$$\frac{12}{18} \xrightarrow{\div 2} \frac{6}{9} \xrightarrow{\div 3} \frac{2}{3}$$

$$\frac{12}{18} \xrightarrow{\div 6} \frac{2}{3}$$

^{さいだいこうやくすう}最大公約数で
われば、1回で
^{やくぶん}約分すること
ができるよ。



② $\frac{3}{9} = \frac{1}{3}$

③ $\frac{16}{24} = \frac{2}{3}$

分母のちがう分数を、大きさを^か変えないで共通な分母の分数にすることを、

通分

するといいます。



次の数を通分しましょう。

① $\frac{4}{9}$ と $\frac{5}{12}$

$$\frac{4}{9} \xrightarrow{\times 4} \frac{16}{36}$$

$$\frac{5}{12} \xrightarrow{\times 3} \frac{15}{36}$$

^{さいしょうこうばいすう}最小公倍数で通分すれば、
分母が^{もっと}最も小さい分数に
なおせるよ。



^{さいしょうこうばいすう}9と12の最小公倍数は、
36だから…。



② $\frac{3}{4}$ と $\frac{7}{10}$

$$\frac{3}{4} = \frac{15}{20}$$

$$\frac{7}{10} = \frac{14}{20}$$

③ $\frac{5}{12}$ と $\frac{1}{3}$

$$\frac{5}{12} = \frac{5}{12}$$

$$\frac{1}{3} = \frac{4}{12}$$



◆分数のたし算

$\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ の計算のしかたを考えましょう。

① $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{3}$ を通分して、分母をそろえましょう。

$$\frac{1}{2} = \frac{1 \times \boxed{3}}{2 \times \boxed{3}} = \frac{\boxed{3}}{\boxed{6}} \quad \frac{1}{3} = \frac{1 \times \boxed{2}}{3 \times \boxed{2}} = \frac{\boxed{2}}{\boxed{6}}$$

② 答えを求めましょう。

$$\begin{aligned} \frac{1}{2} + \frac{1}{3} &= \frac{\boxed{3}}{\boxed{6}} + \frac{\boxed{2}}{\boxed{6}} \\ &= \frac{\boxed{5}}{\boxed{6}} \end{aligned}$$

2 と 3 の最小公倍数は…。



分母をそろえたら、
あとは分子どうし
をたせばいいね。



$2\frac{3}{5} + 1\frac{2}{3}$ の計算のしかたを考えましょう。

$$\begin{aligned} 2\frac{3}{5} + 1\frac{2}{3} &= 2\frac{\boxed{9}}{\boxed{15}} + 1\frac{\boxed{10}}{\boxed{15}} \\ &= 3\frac{\boxed{19}}{\boxed{15}} \\ &= 4\frac{\boxed{4}}{\boxed{15}} \end{aligned}$$

帯分数は、整数と真分数の
和で表すから…。



◆練習

① $\frac{1}{4} + \frac{3}{5} = \frac{\boxed{17}}{\boxed{20}}$ ② $\frac{5}{6} + \frac{5}{12} = \frac{\boxed{5}}{\boxed{4}}$ ③ $1\frac{7}{15} + 2\frac{5}{6} = \frac{\boxed{4\frac{3}{10}}}{\boxed{10}}$



◆分数のひき算

$\frac{5}{6} - \frac{1}{2}$ の計算のしかたを考えましょう。

$$\begin{aligned}\frac{5}{6} - \frac{1}{2} &= \frac{\boxed{5}}{\boxed{6}} - \frac{\boxed{3}}{\boxed{6}} \\ &= \frac{\boxed{2}}{\boxed{6}} \\ &= \frac{\boxed{1}}{\boxed{3}}\end{aligned}$$



やくぶん
約分できるときは
やくぶん
約分しよう。



$4\frac{1}{6} - 2\frac{3}{4}$ の計算のしかたを考えましょう。

$$\begin{aligned}4\frac{1}{6} - 2\frac{3}{4} &= 4\frac{\boxed{2}}{\boxed{12}} - 2\frac{\boxed{9}}{\boxed{12}} \\ &= 3\frac{\boxed{14}}{\boxed{12}} - 2\frac{\boxed{9}}{\boxed{12}} \\ &= 1\frac{\boxed{5}}{\boxed{12}}\end{aligned}$$

分数部分で
ひけないから…。



◆練習

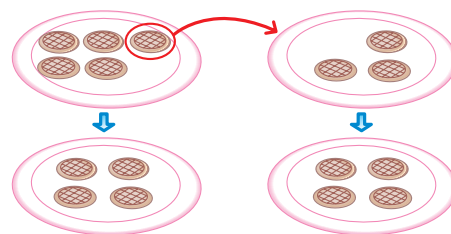
① $\frac{5}{8} - \frac{5}{12} = \frac{\boxed{5}}{\boxed{24}}$ ② $5\frac{2}{7} - 3\frac{3}{5} = 1\frac{\boxed{24}}{\boxed{35}}$ ③ $\frac{1}{6} + \frac{7}{12} - \frac{3}{8} = \frac{\boxed{3}}{\boxed{8}}$



◆ならした大きさ

いろいろな大きさを等しい大きさにすることを「ならす」といいます。
ならした大きさについて調べましょう。

- ① 5まいのクッキーと3まいのクッキーがあるとき、数が同じになるようにならすには、数が
多いほうから少ないほうへ **1** まい移します。



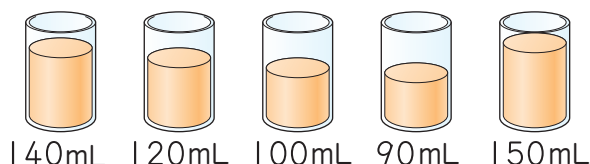
- ② このように、いくつかの数や量^{りょう}を等しい大きさになるようにならしたものを、
もとの数や量^{りょう}の **平均** ^{へいきん} といいます。

- ③ 上のクッキーのまい数^{すう}は、平均 **4** まい^{まい}です。



◆平均の求め方

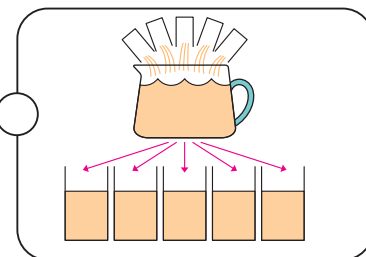
オレンジを5個^こしぼったら、次のような量^{りょう}のジュースがとれました。
オレンジ1個^こからとれる
ジュースの量^{りょう}の平均^{へいきん}を
求め^{もと}ましょう。



何 mL ずつ移^{うつ}して
ならせばいいか
わかりにくいね。



全部のジュースを合^あわせて、コップ1つ^{りょう}分の量^{りょう}
を同^{おな}じにすると…。



- ① 全部のジュースを合^あわせた量^{りょう}は何 mL でしょうか。

$$140 + 120 + 100 + 90 + 150 = 600 \text{ (mL)}$$

- ② ジュースの量^{りょう}は、平均^{へいきん}何 mL でしょうか。

$$600 \div 5 = 120$$

全体の量 コップの数

答え

120mL

平均^{へいきん}は、次の式^{もと}で求められます。

$$\text{平均} = \text{合計} \div \text{個数}$$

全体の合計を調^{しら}べて
から1個^こ分の量^{りょう}を
求めれば、ならした
量^{りょう}がわかるね。



◆平均を使った問題

7 日間のすいみん時間を調べたところ、下の表のようになりました。

この表を見て、次の問題

を考えましょう。

すいみん時間調べ

曜日	月	火	水	木	金	土	日
時間	9	8	9	10	8	10	9

- ① 1 日のすいみん時間は、^{へいきん}平均何時間でしょうか。

$$\text{式} \quad \underbrace{9 + 8 + 9 + 10 + 8 + 10 + 9}_{\text{合計のすいみん時間}} \div \underbrace{7}_{\text{日数}} = \underbrace{9}_{\text{平均}}$$

計算には電たくを
使ってもいいよ。



答え **9 時間**

- ② 1 日に^{へいきん}平均で 9 時間ねむるとすると、30 日間では
合計何時間ねむると考えられるでしょうか。

$$\text{式} \quad \underbrace{9}_{\text{平均}} \times \underbrace{30}_{\text{日数}} = \underbrace{270}_{\text{合計}}$$

平均 = 合計 ÷ 個数
合計 = 平均 × 個数

答え **270 時間**

下の表は、ある学級の 5 日間の落とし物の数を調べたものです。

1 日の落とし物の数は、^{へいきん}平均
^こ何個でしょうか。

落とし物調べ

曜日	月	火	水	木	金
^こ 個数(個)	2	0	3	1	3

- ① 落とし物の数の合計は何^こ個でしょうか。

$$\underbrace{2}_{\text{こ}} + \underbrace{0}_{\text{こ}} + \underbrace{3}_{\text{こ}} + \underbrace{1}_{\text{こ}} + \underbrace{3}_{\text{こ}} = \underbrace{9}_{\text{こ}} \text{ (個)}$$

落とし物が 0 個
の日があるね。



- ② 調べた日数は **5** 日間です。



落とし物が 0 個の日も
調べた日数に入るから…。

- ③ 1 日の落とし物の数は、^{へいきん}平均何^こ個でしょうか。

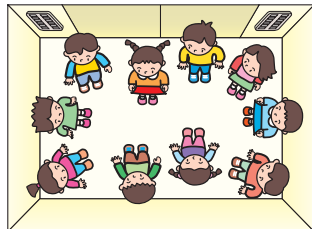
$$\underbrace{9}_{\text{合計}} \div \underbrace{5}_{\text{日数}} = \underbrace{1.8}_{\text{平均}}$$

答え **1.8 個**

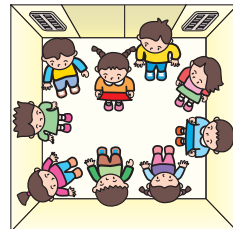
◆こみぐあいの比べ方

㊤と㊦のこみぐあいを比べましょう。

㊤



㊦



広いけれど
人数も多いね。

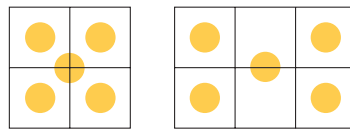
せまいけれど
人数も少ないね。

① こみぐあいを比べるには、広さと人数の2つの量を調べます。

・ 広さが同じときは、人数が多いほうが
こんでいます。



・ 人数が同じときは、広さがせまいほうが
こんでいます。



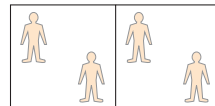
② ㊤と㊦の人数と面積は、右の表のとおりです。
1m²あたりの人数を求めましょう。

㊤ $10 \div 4 = 2.5$ (人)

㊦ $9 \div 3 = 3$ (人)

	面積(m ²)	人数(人)
㊤	4	10
㊦	3	9

2m²に4人なら、
1m²あたりの人数は
4÷2で求められるね。



③ 1m²あたりの人数が多いのは㊦なので、

㊦のほうがこんでいます。

1人あたりの面積を調べても、
こみぐあいが比べられるよ。



◆人口密度



山田市と中川市の人口と面積を調べたら、
右の表のとおりでした。
2つの市のかみぐあいを比べましょう。

	人口 (人)	面積 (km ²)
山田市	91501	74
中川市	226800	180

① 1km² あたりの人口を求めましょう。

山田市 $91501 \div 74 = 1236.5$ (人)

中川市 $226800 \div 180 = 1260$ (人)

74km²に91501人
ということは、1km²
あたりでは、何人いる
と考えられるかな。

② 1km² あたりの人口が多いのは **中川** 市です。



③ 1km² あたりの人口を **人口密度** といいます。

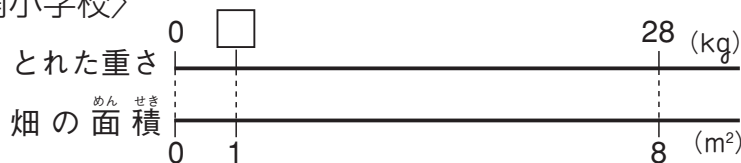


下の表は、南小学校と北小学校の
畑でとれたじゃがいもの重さと畑
の面積を表しています。
どちらの畑のほうがよくとれたと
いえるでしょうか。

	とれた重さ (kg)	畑の面積 (m ²)
南小学校	28	8
北小学校	25	5

① それぞれ 1m² あたりの重さを求めましょう。

〈南小学校〉



式 $28 \div 8 = 3.5$

〈北小学校〉



式 $25 \div 5 = 5$

② 1m² あたりの重さが重いので、**北小学校** のほうがよくとれたといえます。

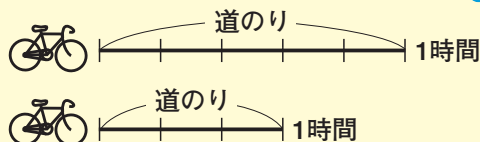


◆速さ

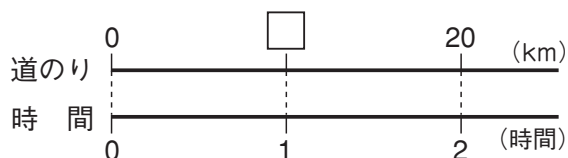
速さについて調べましょう。

- ① 速さは、^{たんい}単位時間あたりに進む道のりで表します。

1 時間に進む道のりで表した速さのことを **時速** といいます。



- ② 2 時間に 20km 進むと、時速は **10** km です。



1 時間に進む道のりを
もと
求めればいいから…。

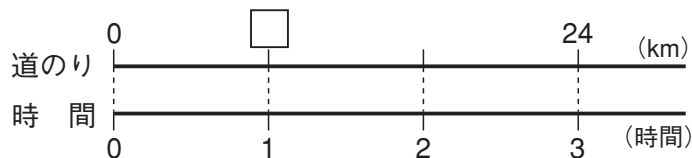


- ③ 速さは、次の式で求められます。

速さ = **道のり** ÷ **時間**

- ④ 24km の道のりを 3 時間で走りました。

時速は何 km だったでしょうか。



式 **24 ÷ 3** = **8**

答え 時速 **8km**

- ⑤ 24km の道のりを 1 時間で走りました。

分速は何 km だったでしょうか。

式 **24 ÷ 60** = **0.4**

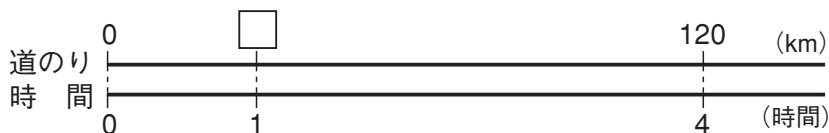
60 分間で 24km 進むという
ことだから、1 分間では…。



答え 分速 **0.4km**

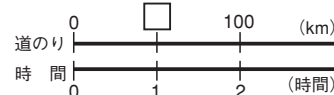


120km の道のりを 4 時間で走りました。このときの時速を求めましょう。

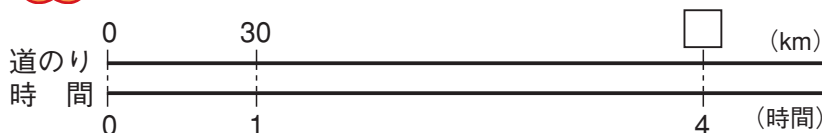


式 $120 \div 4 = 30$ 答え 時速 30km

2 時間で 100km 進むとすると、1 時間あたりでは…。



時速 30km で 4 時間走りました。何 km 進んだでしょうか。



式 $30 \times 4 = 120$ 答え 120km

1 時間に進む道のりの 4 倍だから…。



120km の道のりを時速 30km で走りました。何時間かかったでしょうか。



式 $30 \times \square = 120$
 $\square = 120 \div 30$
 $= 4$

$\square$ 時間かかったとすると、
 $30 \times \square = 120$
 だね。



答え 4 時間



速さ、道のり、時間の関係を言葉の式に表しましょう。

速さ = $\text{道のり} \div \text{時間}$

道のり = $\text{速さ} \times \text{時間}$

時間 = $\text{道のり} \div \text{速さ}$

◆わり算と分数



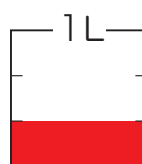
1L のジュースを 3 等分すると、1 つ分の^{たいせき}体積は何 L になるでしょうか。

- ① 1 つ分の^{たいせき}体積は、どんな式で求められるでしょうか。

式

$$1 \div 3$$

- ② 右の図で、1L を 3 等分した 1 つ分の^{たいせき}体積に色をぬりましょう。



- ③ 答えを分数で表しましょう。

$$1 \div 3 = \frac{1}{3}$$

答え

$$\frac{1}{3} \text{ L}$$



1L を 3 等分した
1 個分だから…。



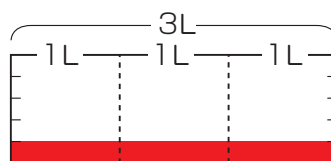
3L のジュースを 5 等分すると、1 つ分の^{たいせき}体積は何 L になるでしょうか。

- ① 1 つ分の^{たいせき}体積は、どんな式で求められるでしょうか。

式

$$3 \div 5$$

- ② 右の図で、3L を 5 等分した 1 つ分の^{たいせき}体積に色をぬりましょう。

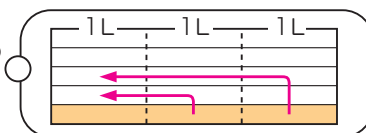


- ③ 答えを分数で表しましょう。

$$3 \div 5 = \frac{3}{5}$$

答え

$$\frac{3}{5} \text{ L}$$



整数どうしのわり算の商は、

わる数を

分母、

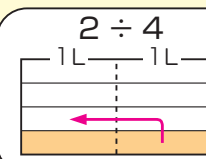
わられる数を

分子として、

分数で表すことができます。

$$\bigcirc \div \triangle = \frac{\bigcirc}{\triangle}$$

○と△に、いろいろな
数をあてはめてみよう。



2 ÷ 4

◆分数と小数、整数



$\frac{4}{5}$ を小数で表す方法を考えましょう。

- ① $\frac{4}{5}$ を、わり算の式で表すと $4 \div 5$ になります。
わり算の計算をして、答えを小数で求めると 0.8 になります。

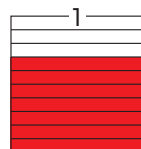
② 分数を小数で表すには、

分数の **分子** を **分母** でわって、小数で答えを求めます。



0.7 を分数で表す方法を考えましょう。

- ① 右の図で、 0.7 になるように色をぬりましょう。
② 0.7 は、 1 を **10** 等分した 7 個分なので、 $\frac{7}{10}$ と表せます。



- ③ 小数を分数で表すには、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数は **10** を分母とする分数で、 $\frac{1}{100}$ の位までの小数は **100** を分母とする分数で表すことができます。



2 を分数で表す方法を考えましょう。

- ① 1 は $\frac{1}{1}$ と表せます。 2 は、**1** の 2 個分なので、 $\frac{2}{1}$ と表せます。

- ② 整数を分数で表すには、分母を **1** にします。

◆練習

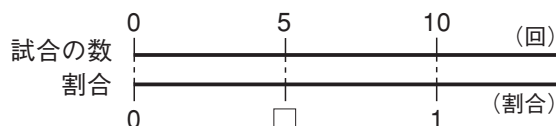
- ① $\frac{3}{10} = 0.3$ ② $\frac{6}{5} = 1.2$ ③ $1.3 = \frac{13}{10}$ ④ $0.23 = \frac{23}{100}$ ⑤ $6 = \frac{6}{1}$



◆割合の表し方

わりあい
割合の意味や表し方を考えましょう。

- ① 全部で 10 回試合をして、5 回勝ったとき、全部の試合数を 1 とみると、勝った試合の数は **0.5** とみることができます。



- ② 全部の試合数に対する勝った試合の割合は、**0.5** です。

わりあい
割合は、次の式で求められます。

わりあい ひ りょう き じゅんりょう
割合 = 比かく量 ÷ 基準量



わりあい き じゅんりょう
割合は、基準量を 1 とみたときの、比かく量の大きさだね。

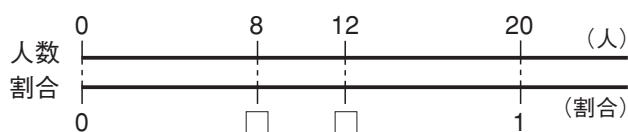
- ③ 全部で 10 回試合をして、4 回勝ったとき、勝った試合の割合を求めましょう。

式 **$4 \div 10 = 0.4$**

答え **0.4**

- ④ 男の子が 8 人、女の子が 12 人で、あわせて 20 人います。

全体の人数を 1 とみたときの、男の子の割合と女の子の割合を求めましょう。



男の子の割合

女の子の割合

男の子の割合 **$8 \div 20 = 0.4$**

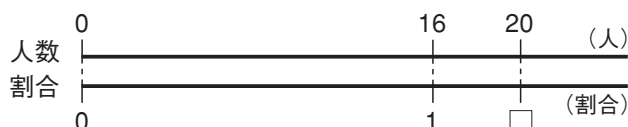
答え **0.4**

女の子の割合 **$12 \div 20 = 0.6$**

答え **0.6**

- ⑤ 理科クラブの定員は 16 人で、希望者は 20 人いました。

定員に対する希望者の割合を求めましょう。



式 **$20 \div 16 = 1.25$**

答え **1.25**



◆百分率

全部で 20 回^{し あい}試合をして、5 回勝ちました。

- ① 勝った試合^{し あい}の割合^{わり あい}を求めましょう。

式

$$5 \div 20 = 0.25$$

答え

0.25

- ② 割合^{わり あい}の 0.25 は、0.01 をもとにすると **25** とみることができます。



0.01 きざみのメモりの数を数えればわかるね。



- ③ 割合^{わり あい}の 0.01 を 1 とする表し方を^{ひゃくぶんりつ}百分率といい、割合^{わり あい}の 0.25 を **25%** と書きます。

%は、パーセントとよむよ。

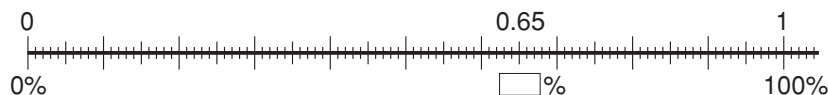


- ④ 全部で 20 試合^{し あい}して 20 回勝ったときの割合^{わり あい}は、^{ひゃくぶんりつ}百分率で表すと **100%** です。



小数や整数で表された割合^{わり あい}を、^{ひゃくぶんりつ}百分率で表しましょう。

- ① 0.65 → **65** %



0.01 を 1 と表すのだから、0.65 に 100 をかければいいね。



- ② 0.4 → **40** %

^{くらい}位 を 2 けた上げると…。
0.40

- ③ 1.32 → **132** %

- ④ 0.999 → **99.9** %

- ⑤ 3 → **300** %



◆割合を使った問題

野球チームの人数は、全部で 50 人です。
そのうち、5 年生の人数は 15 人です。

- ① 5 年生の人数の割合を求めましょう。

式

$$15 \div 50 = 0.3$$

答え

0.3

- ② 5 年生の人数の割合を、百分率で表しましょう。

答え

30%

野球チームの人数は、全部で 50 人です。
そのうち、5 年生の人数の割合は 30% です。

30% → 0.3

- ① 5 年生の人数を求めましょう。

式

$$50 \times 0.3 = 15$$

答え

15 人

- ② 野球チームの全部の人数は、基準量です。

5 年生の人数は比かく量です。

比かく量は、次の式で求められます。

$$\text{比かく量} = \text{基準量} \times \text{割合}$$

× ? ÷ ?

野球チームの 5 年生の人数は 15 人です。
これは、野球チームの全部の人数の 30% にあたります。

- ① 野球チームの全部の人数を □ 人として式に表し、全部の人数を求めましょう。

式

$$\begin{aligned} \square \times 0.3 &= 15 \\ \square &= 15 \div 0.3 \\ &= 50 \end{aligned}$$

□ 人の 30% が
15 人ということだから…。

答え

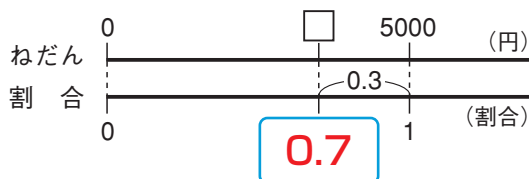
50 人

◆割引



定価 5000 円の服が、30%引きのねだんで売られています。

- ① 5000 円の 30%引きということは、5000 円の **70** %になります。
- ② この服は何円で買えるでしょうか。

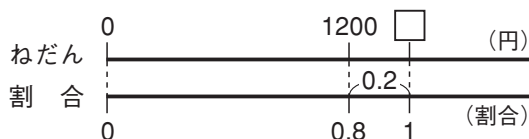


$$\text{式 } 5000 \times (1 - \mathbf{0.3}) = \mathbf{3500}$$

答え **3500 円**



くつが 1200 円で売られています。これは、定価の 20%引きのねだんだそうです。このくつの定価は何円でしょうか。



$$\text{式 } \square \times (1 - \mathbf{0.2}) = 1200$$

$$\square = 1200 \div \mathbf{0.8}$$

$$= \mathbf{1500}$$

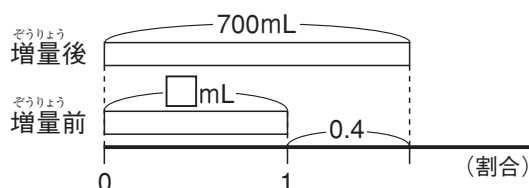
答えは1200円より高いかな、安いかな。



答え **1500 円**



シャンプーが 40%増量して売られています。増量後のシャンプーの量は 700mL です。増量前のシャンプーの量は何 mL でしょうか。



$$\text{式 } \square \times (1 + \mathbf{0.4}) = 700$$

$$\square = 700 \div \mathbf{1.4}$$

$$= \mathbf{500}$$

答えは700mLより多いかな、少ないかな。



答え **500mL**



◆帯グラフと円グラフのかき方

下の表は、けがの^{しゅるい}種類別の割合を表したものです。

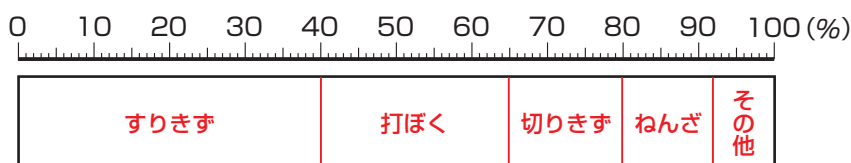
けがの^{しゅるい}種類と割合

^{しゅるい} 種類	すりきず	打ぼく	切りきず	ねんざ	その他	合計
^{けん} 件数 (件)	104	65	39	31	21	260
^{わりあい} 割合 (%)	40	25	15	12	8	100

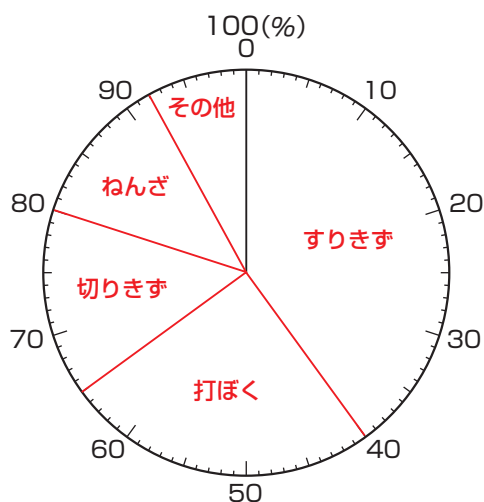
① それぞれの割合を百分率で求めて、上の表に書きましょう。百分率は四捨五入して、整数で表しましょう。

② それぞれの割合を、下の帯グラフと円グラフに表しましょう。

けがの^{しゅるい}種類と割合 (合計 260 件)



けがの^{しゅるい}種類と割合 (合計 260 件)



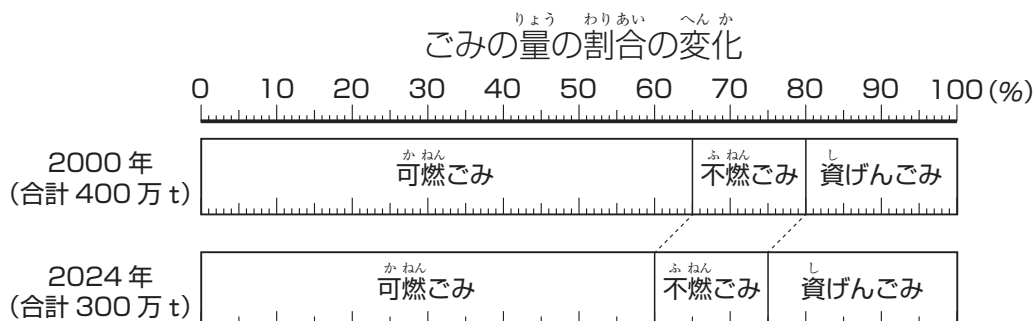
^{わりあい}割合の大きい順に、^{じゅん}右回りに区切って
いけばいいね。

③ 小さい 1 めもりは、1 %を表しています。

④ すりきずと打ぼくの^{けん}件数を合わせると、全体の約 2 / 3 です。



下の表は、ある地いきのごみの量を種類別に表したものです。



- ① 2000 年、2024 年の資げんごみの割合は、それぞれ何%でしょうか。

2000 年 20 % 2024 年 25 %

- ② 2000 年、2024 年の資げんごみの量は何万 t でしょうか。

〈2000 年〉 400×0.2 = 80 (万 t)

〈2024 年〉 300×0.25 = 75 (万 t)

- ③ けんさんは、グラフを見て、下のように話しています。

けんさんの話は正しいといえるでしょうか。

理由も説明しましょう。

2000 年に比べて、2024 年の
資げんごみの量は増えているね。



けん

正しいと いえない。

理由は、

資げんごみの 割合 は、20 % から 25 % に増えているが、

全体のごみの量が減っているため、

資げんごみの 量 は 80 万 t から 75 万 t に減っているから。